

前年度比約19%減!!

緊縮財政予算を慎重に審議！

これだ!!

平成18年度の予算を審議するため、3月9日から「予算特別委員会」を開催した。町財政が厳しくなった状況で、町執行部が「第4次熊野町総合基本計画の推進」、「健全な財政運営の継続への取り組み」、そして「行政改革の推進」の3つを基本として組んだ予算は、行財政改革の成果や大規模事業の減少から、一般会計予算において前年度比で約19%削減したもので議案提出された。

今年度の主要事業について説明を受けた後の質疑時間では、多くの議員から、予算についての具体的な質疑が相次いだ。各会計当初予算を委員会で認め、本会議で報告、原案どおり可決した。

緊縮財政の中で、限られた財源を適切かつ有効に執行されることを期待し、併せて議会としても、この予算が適正な事業執行されるかをチェックしていかななくてはならない。



熊野の住所はどう変わるのだろうか？

総務部門主要事業

- 住居表示事業
(事業費 590万円)
- 広域行政対策事業
(広島都市圏中枢拠点機能研究会)
(事業費 25万円)

予算特別委員会における質疑の一部抜粋

- Q** 住居表示事業は、どのような手順で実施していくのか。
A 審議会を設置し、その中で実施する区域等を決定していく。また、住居表示事業の委託料として、500万円を計上している。
- Q** 広域行政対策事業とは、どのような内容なのか。
A 広島都市圏が拠点都市となるような働きかけを行う。

民生部門主要事業

- 地域包括支援センター運営事業
(事業費 2,500万円)
- 障害者自立支援事業
(事業費 1億6,900万円)



新たに設置された地域包括支援センター

予算特別委員会における質疑の一部抜粋

- Q** 平成19年度に開所する保育所では一時保育事業を実施するが、3ヶ月程度の保育事業は可能か。
A 短期入所について、家庭で保育できない状況であれば可能な限り受入を行う。
- Q** 林道の不法投棄ごみの処理・処分はどのように考えているか。
A 原則は土地所有者が処分しなければならないが、地域でボランティア清掃を行う場合には、町も回収・処分の協力を行っている。

一般会計予算総額約59億円 平成3年以後15年ぶりの60億を下回る

平成18年度 注目事業は

建設部門主要事業

- (仮称)深原地区公園整備事業
(事業費 5,200万円)
- 町道深原公園線新設事業
(事業費 3,700万円)



整備が進む深原地区の公園

予算特別委員会における質疑の一部抜粋

- Q** 深原地区公園(仮称)の工事について、定期的に検査は行っているか。
- A** 県の検査事項に基づく定期検査や、抜き打ち検査も併せて行っている。
- Q** 地籍調査の進捗状況は。
- A** 主に呉地地区の山林部分が残っているが、町全体では概ね9割が進捗している。



今月の用語解説

「予算特別委員会」

・来年度の予算が適正に組み立てられているかを審査するため、定例会開会期間中に特別に設けられる委員会。熊野町では議員全員が委員となってこれを行う。

教育部門主要事業

- 小学校管理臨時的事業
(事業費 1,500万円)
- 学校教育一般管理事業
(保護者への携帯メール
連絡網システム)
(事業費 12万円)



改修のための設計を行う第一小学校中校舎

予算特別委員会における質疑の一部抜粋

- Q** 日本スポーツ振興センター負担金の内容は。
- A** 児童・生徒が通学中やクラブ活動等で怪我をした場合の医療費に関する保険である。
- Q** 不登校児童・生徒への対策は。
- A** 各学校による家庭訪問・保護者との連携により解決を図ろうとしている。